

特集 第1弾

誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて

渋谷区自立支援協議会その①～地域と向き合う～

昨年のつうしん(6月号～夏合併号)紙面上で地域自立支援協議会(以下、協議会)に関する特集を組み、多くの反響を頂きました。その後、有志メンバーによる定期的な意見交換の場を持ち、話し合いを重ねてきました。そんな中、昨年12月に渋谷区の協議会が立ち上がり、「第1回渋谷区自立支援協議会」が開催されました。

●第1回渋谷区自立支援協議会 開催

2012年12月18日、16名の協議会委員による話し合いが始まりました。東京23区の中で23番目の立ち上げですが、関係者にとっては待望の協議会スタートです。メンバーは委員長の高橋幸三郎氏(東京家政学院大学教授)をはじめ、障害当事者またはその家族、医療関係者、教育・雇用・相談支援等の各福祉支援事業従事者で構成されています。

顔合わせを兼ねた第1回会議は、協議会の役割の説明と、今後の体制が中心に検討されました。体制は、全体会(年2回開催)と、「相談」「就労」の2つの専門部会(随時開催)による構成が基本となりますが(図1参照)、情報共有の方法や事務局体制の有無、個別支援会議の位置づけが曖昧である等、課題は山積みです。しかし、第一歩を踏み出したことで、今後への期待感は確実に広がりました。地域資源や人を繋ぐ「ネットワーク」を構築し、共通する課題をどのように地域のサービスやシステムづくりに繋げていくのか、その舵取りを担う協議会への期待が膨らみます。

●私達が変われば地域も変わる

昨年夏、協議会が設置されない中、今後の渋谷区の福祉に対する焦りや不安を感じていました。既に全国では協議会が立ち上がり、地域性を活かしたシステムが住民を中心に構築されつつあったからです。区内で生活支援を共に行なうNPO法人渋谷なかよしぐる一ぷに胸中を伝え、まずは自分達がしっかりと現状を把握し勉強する必要性を感じ、有志メンバーによる意見交換の場を設置。定期的な話し合いを重ねてきました。その中で、地域福祉に携わる我々の連携の弱さが、反省点として上がりました。協議会が設立された今、渋谷の福祉を活性化させるために、住民同士の繋がりや意識向上は欠かせません。連携に向けた足がかりになることを願い、多くの住民の皆さまと共に、協議会の意味と基本的な役割を学ぶ下記セミナーを開催致します。

事務局長 菅原睦子

セミナー 自立支援協議会ってなんだろう？ ～どう変える？渋谷の福祉～

- ◆2月22日(金)10時-12時(開場9:30)
- ◆初台青年館 第1集会室 参加費無料
(渋谷区初台1-33-10)
- ◆参加対象：渋谷区在勤在住の方、その他関心のある方
- ※問合せ/申込み：ぱれっと事務局
TEL:03-5766-7302 もしくはメールにて
- ◆主催「渋谷の福祉を考える有志の会」

